

## インターハイ

平成30年度全国高等学校総合体育大会が7月26日～8月20日に三重県、愛知県、静岡県、岐阜県、和歌山県の5県で開催され、JOCエリートアカデミーからは4競技12名が出場しました。

### 《主な大会成績》

#### ○優勝

- ・榎 流斗(レスリング男子フリースタイル60kg級) ※二連覇、最優秀選手賞獲得
- ・佐藤 匡記(レスリング男子フリースタイル71kg級)
- ・鏡 優翔(レスリング女子73kg級) ※二連覇

#### ○2位

- ・月野 敬子(フェンシング女子サーブル個人)
- ・安田 舞(水泳/飛込女子飛板飛込)

#### ○3位

- ・尾崎野乃香(レスリング女子57kg級)

### 《レスリング》

榎君は、4回戦で目尻を負傷しましたが、医師の処置を受けつつ決勝戦に進出。決勝戦でも開始早々出血がありましたが、持ち前の負けん気で積極的に攻撃を仕掛け、5対0の安定した試合内容で連覇を達成しました。

佐藤君は、3回戦までをテクニカルフォール、準々決勝から決勝までを2対1で勝ち上がり、念願の初優勝を成し遂げました。

鏡さんは、2回戦から決勝戦まで常にリードする試合展開で、内容も安定しており、昨年に続いて2連覇を達成しました。

2018年カデット優勝者である尾崎さんは、準々決勝で2017年カデット優勝者と対戦。世界王者同士の対戦となり、尾崎さんは善戦しましたが、ラスト7秒からの相手の猛攻撃に耐えられず2対4で敗れ3位となりました。



【負傷しながらも果敢に攻める榎君】



【2連覇を遂げた鏡さん】

### ＜初優勝した佐藤君のコメント＞

『今回、インターハイを春の全国選抜大会に続き優勝し二冠を取ることができてとてもうれしかったです。試合の内容は3回戦目までは自分から攻めることができテクニカルフォールで勝てたの

ですが、2日目からの試合は緊張してしまい自分から攻めることが出来ずにずっと守ってばかりだったので準々決勝から決勝までのスコアを2対1で終えて、お互いに何の展開も無いままでした。自分から攻撃を仕掛けるレスリングをしなければ次



【初優勝の佐藤君】

の国民体育大会では足元をすくわれてしまうので、今まで以上に自分から攻めるよう心がけ国民体育大会でも勝ち、高校三冠を取りたいです。』

### 《フェンシング》

昨年準優勝の月野さんは、今年こそ絶対優勝するという強い気持ちで試合に臨みました。初日の予選とトーナメント1回戦は、ほぼ完璧に近い試合展開で調子の良さをうかがわせましたが、翌日の決勝では、自身の攻撃で得点をする事が出来ず、12対15で敗れました。優勝候補の筆頭に挙げられていただけに非常に悔しい敗戦となりました。

### 《水泳/飛込》

安田さんは、飛板飛込決勝で今季から練習を始めた、捻りを加えた難易度の高い技を組み込んだ演技構成に挑戦し、初めてノーミスに近い形で出来ました。さらに高いレベルを目指して、試合だけでなく日頃の練習から、「何が何でも勝つ」という強い気持ちで取り組んでいってほしいです。

## 【レスリング】

### アジア・スクールボーイ選手権



【初代チャンピオンとなった高橋君】

第1回アジア・スクールボーイ選手権がカラジ(イラン)で開催され、高橋君が57kg級で初代チャンピオンとなりました。この大会はアジアの若年層の強化と普及

のため、今年から開催された大会で、14・15歳を対象とし、日本からは全国中学生選手権の優勝選手として高橋君が派遣されました。高橋君にとっては、7月の世界カデット選手権で優勝を逃しているだけに、絶対欲しいタイトルであり、見事実現させることができました。



## 【ボート】

### 世界ジュニア選手権

19歳以下の世界チャンピオンを決める、世界ジュニアボート選手権大会が8月8日～12日までラシス(チェコ)で開催され、JOCエリートアカデミーからは青木君と松田さんが初めて日本代表として出場しました。昨年度から活動を始めたボートチームとしても初めての大きな大会であり、Final B 出場(12位以内)という目標を掲げ、国内合宿やミュンヘンでの事前合宿でトレーニングを重ね、大会に臨みました。

青木君は男子シングルスカルに出場、準々決勝はスタートから攻めましたが、他艇との力の差が大きく、6位でゴールし、最終順位は22位(38名出場)でした。目標とするB Final 出場のためには、20秒の差を埋めるべくトレーニングをしていかなければならないことを痛感した結果となりました。



【青木君】



【松田さん】

松田さんは女子シングルスカルに出場しましたが、予選でスタートから出遅れ、自分のリズムを取り戻すことができず失速し、敗者復活戦に回ることになりました。敗者復活戦ではスタートからコンスタントに入るところでのリズムの切り替えを改善し、落ち着いたリズムで臨むことができました。準々決勝ではキャッチから脚を使い、水中からリズムを作ることに集中し、スタートからいいリズムを刻み、現時点での松田さんが持つベストを出すことができたレースとなりました。最終的には21位(29名出場)であり、世界との差は大きく、準決勝 A/B 進むことができず、目標としていたFinal B 進出はなりませんでしたが、大会を通して、フランスでの1か月間の合宿の成果として、目標としていた8分を切ることができ、現時点での松田さんのベストを尽くせたことは良い成果でした。

## 【卓球】

### 全国中学校卓球大会

第49回全国中学校卓球大会が8月22日から25日まで、広島県立総合体育館で開催されました。小塩さんは、114名が参加した女子シングルスに出場し、安定した試合運びで決勝に進出しました。決勝はワールドランキング50位前後に位置する強豪との対戦になりました。第1ゲームから調子に乗ることが出来ず、0対3のゲームスコアで惜しくも敗れました。1年生の小塩さんにとっては、今回の敗戦を糧に来年度のこの大会では優勝を果たしてほしいところです。

## 【卓球】

### アジアジュニア卓球選手権

アジアジュニア卓球選手権大会が8月13日～18日までネプドー(ミャンマー)で開催され、宇田君、木原さん、小塩さんが日本代表として出場しました。

この大会で、木原さんがジュニア女子団体で2位、そしてジュニア女子シングルス3位と大健闘しました。木原さんは7月にテグー(韓国)で開催されたワールドツアー・プラチナ大会U21女子シングルスで優勝を果たしており、それが大きな自信につながっています。宇田君はジュニア男子団体で3位、小塩さんは女子ダブルス2位、カデット女子団体3位になっています。

選手たちは、試合数の多い中、集中力を保ちよく頑張りました。この大会で男女共に12月にオーストラリアで開催される世界ジュニア選手権大会の出場権を獲得しました。アジアジュニアでの課題に取り組み、今後さらに活躍できるよう頑張りたいです。



【大健闘の木原さん】

## 【水泳/飛込】

### JOCジュニアオリンピックカップ

第41回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会が8月22日から25日まで大阪プール(大阪府大阪市)で開催されました。

この大会で、安田さんは高飛込において初めて300点を超える得点(306点)を出し2位にはいりました。

また、遠藤君も3m飛板飛込で自己ベストとなる396.35点を出して2位となりました。遠藤君は前の週に行われたインターハイでは思うような結果が出せなかっただけに、この結果は大きな自信となりました。

公益財団法人 日本オリンピック委員会

JOCエリートアカデミー事業



〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1

味の素ナショナルトレーニングセンター

TEL:03(5963)0355/FAX:03(5963)0356

JOCエリートアカデミーだよりは以下のHPでもご覧いただけます。

<http://www.joc.or.jp/training/ntc/eliteacademy>